



平成20年1月15日

## 平成20年関東合同賀詞交歓会を開催

大陽日酸株式会社（社長：松枝寛祐）では1月10日にウェスティンホテル東京（東京：目黒）において平成20年賀詞交歓会を開催し、特約店をはじめとする取引先ならびに弊社役員など、約560名が出席しました。会場での松枝社長の年頭挨拶の要旨をご紹介します。

### 記

#### 松枝社長 年頭の挨拶（要旨）

皆さん、明けましておめでとうございます。

ここにお集まりの皆様全員、新たな決意をもって新年を迎えられたことと思います。

昨年は、海外ではアメリカのサブプライムローン問題が金融面で大きなマイナス要因となったほかに、原油価格高騰、諸物価上昇などにより、産業界に与える影響も厳しさを増してまいりました。サブプライムローン問題によるアメリカでの住宅着工件数減少は、家電や自動車などの市場にも影響を及ぼすものと考えられ、アメリカを輸出市場とする我々のお客様各業界への影響も懸念されますが、日本製品の技術力、競争力をしてみれば急激な市場の悪化は見られないだろうという意見もあり、悲観すべき年ではないものの、常にあらゆる事態に備えていかなければいけないと思っております。

一方国内では、品質や産地の偽称、賞味期限の改ざんなどコンプライアンス上の問題を強く非難されるケースが世の中で多く話題になりました。製品の安全、保安、品質保証、環境への配慮、コンプライアンスについては、各社それぞれが取り組まなければいけないことはもちろんのこと、我々の業界として対応すべきことがあると考えます。たとえば所属不明容器や長期停滞容器の回収・処理問題、また現在弊社で取り組んでおります物流効率化対策では、タンクローリーの走行距離低減により排ガス・燃料消費を低減することで、環境問題への取り組みにつなげたいと思っておりますが、これにはお客様への働きかけが必要でありますので、特約店会の皆様をはじめお取引先の皆様にも是非ともご協力ご支援をお願いしたいと思っております。

さて、弊社の業績につきましては、かかる厳しい経済環境の影響をうけつつも、本年3月期は連結売上高4,970億円、経常利益392億円、最終利益218億円を見込んでおり、中期経営計画「グローバル5000」の最終目標にほぼ達するところまでできています。弊社がこのような好業績をあげられますのも、ここにお集まりのメジャークラブのパートナー会社、サーンLPG会の皆様をはじめ、運輸会社、仕入先等当社をご支援いただいている皆様のお陰であり、この場をお借りしまして改めて御礼申し上げる次第であります。

我々は「The Gas Professionals」として、皆様とともに、よりよい明日を夢見て今年も邁進したいと思っております。本日ご参会の皆様方の企業、皆様方ご自身、そしてご家族の繁栄とご健勝を祈念いたしまして、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。

以上



挨拶する松枝社長

本件に関するお問合せ先

大陽日酸株式会社  
東京都品川区小山 1-3-26 東洋 Bldg.  
広報部 田島・追川  
Tel : 03-5788-8015